



**「ハラスメント」等の実態と  
労働組合の役割について**

東海本部は12月4日、東京・新橋交通ビルで「18春闘・賃金討論集会」を開催しました。各地方本部三役・支部・地区本部代表・分会代表者が参加し、18春闘に対する今後の取り組みの意思統一を図りました。また、東京南部法律事務所から竹村和也弁護士を招き、「職場におけるハラスメント」の講演を受けました。

「賃金討論集会」では18春闘に向けて今後の取り組み等が報告された(上)長岡委員長による「団結がんばろう」(下)

さつの後に、東京南部法律事務所は最後に、竹村弁護士は最後に、「労働組合として相談しやすい環境を整えることが重要です」と会場の参加者に訴えて講演を締めくくりました。

所の竹村弁護士による「職場における様々なハラスメント」と題して講演が行われました。講演では、2016年度の相談件数やハラスメントが年々増加傾向にあるなどの説明があり、いま問題のパワーハラスメントの実態が裁判事例とともに詳しく説明されました。

その後、一柳業務部長より2017年諸計画・労働協約改定会社は11月27日、「年末手当3・5カ月の要求」に対する回答を行いましたが、内容は「2・65カ月増、12月8日以降支払」です。国労は要求額からかけ離れていることから不満とし、持ち帰り検討しましたが、翌28日、国労東海本部及び自動車協議会など関係機関と議論して、組合員、社員の生活を考慮して妥

# 賃上げと「憲法・雇用を守る」闘いに 18春闘へ向けてスタート

**国労東海**

国鉄労働組合  
東海エリア本部  
東京都港区新橋5-15-5  
発行責任者 交通ビル4階  
編集責任者 長岡正之  
渡邊和久

年始

## 2・65カ月の回答

ジェイアール 東海バス

は最後に、竹村弁護士は最後に、「労働組合として相談しやすい環境を整えることが重要です」と会場の参加者に訴えて講演を締めくくりました。

主催による貨物総行動などの課題が出

がされました。

討論では、各地方

がされましたが。

され、18春闘に向けての今後の取り組みが報告されました。

集会では、職場・分会の中でも不平・不満を議論する中から要

求を集約し、各級機関が18春闘勝利に向けて奮闘することを全

て確認しました。

「18春闘・賃金討論集会」では「18春闘ポスター」4案について、参加者によるシール投票が行われましたが、19票を集めた右のポスター案が採用されました。ポスターはすでに各地本に発送済みで、東海本部では、各職場の掲示板への掲示や配布など幅広く活用することを呼びかけています。



### 「がん」の保障 <新生生きるためのがん保険Days 新生きるためのがん保険Daysプラス>

新生生きるためのがん保険Days		新生生きるためのがん保険Daysプラス	
新規加入料		新規加入料	
診断料付会員	1回限り 10,000円	診断料付会員	1回限り 10,000円
入院料付会員	1日につき 10,000円	入院料付会員	1日につき 10,000円
通院料付会員	1日につき 10,000円	通院料付会員	1日につき 10,000円
手術料付会員	20万円	手術料付会員	20万円
放射線治療料付会員	1回につき 20万円	放射線治療料付会員	1回につき 20万円
抗がん剤治療料付会員	10万円	抗がん剤治療料付会員	10万円
※詳しくは「契約概要」等をご覧ください。		※詳しくは「契約概要」等をご覧ください。	

<新生きるためのがん保険Daysプラス>		<新生きるためのがん保険Daysプラス>	
新規加入料		新規加入料	
診断料付会員	1回限り 10,000円	診断料付会員	1回限り 10,000円
入院料付会員	1日につき 5万円	入院料付会員	1日につき 5万円
通院料付会員	1日につき 10,000円	通院料付会員	1日につき 10,000円
手術料付会員	2.5万円	手術料付会員	2.5万円
放射線治療料付会員	2.5万円	放射線治療料付会員	2.5万円
抗がん剤治療料付会員	2.5万円	抗がん剤治療料付会員	2.5万円
※詳しくは「契約概要」等をご覧ください。		※詳しくは「契約概要」等をご覧ください。	

「生きる」を創る。Aflac

AF006-2016-0844 12月27日

# 春闘・諸計画・労働協約改訂への方向性

## 「書記長・業長・職協議長会議」で確認

東海本部は11月10日、「第1回書記長・業務部長・職協議長会議」を開催し、2017年労働協約改訂交渉及び平成29年度会社諸計画の交渉経過と総括、2018年度年間職場要求集約の実施方について意思統一を行ないました。

東海本部からは交渉経過と回答に対する評価と課題について報告し、各地方・職協から、これまでの取り組み報告や諸計画・労働協約改訂に対する要求集約等の報告が行われました。

地方要求申入れについては、新幹線地本・大阪地区本部において「新幹線車内業務見直し」における解明要求を提出し交渉を行なっていること、静岡地本・名古屋地本での地方要求をまとめて交渉していること等が報告されました。また工務協議会から、協力会社の業務能力を超える業務量が発注され、待避不良事故防止のための会社の方策と現場の実態のかい離が起きていたこと、電気協議会からは、始

業前のJネットログインによる超勤が過少申告されている実態等の問題提起がありました。車両からは、検査周期延伸がなされ連続した休日が取得可能となつたが、在来線において車両部品の落失が多く発生している現状も報告されました。

東海本部に対しては、シニア契約社員制度導入について東海本部としての考え方、定年延長・

業前のJネットログインによる超勤が過少申告されている実態等の問題提起がありました。車両からは、検査周期延伸がなされ連続した休日が取得可能となつたが、在来線において車両部品の落失が多く発生している現状も報告されました。

東海本部に対しては、シニア契約社員制度導入について東海本部としての考え方、定年延長・

用についてはこれまでも交渉しており、具体的な実態を調査等で対応していくこととする旨ご回答しました。その後、18春闘・会社諸計画・労働協約改訂各要求の集約を含む今後の取り組み等の意思統一を図り、出席者全員で確認しました。

討論では、渡邊地本青年部書記長が東海エリヤ代表として発言。「貨物会社も利益優先の方向に向かっている。貨物輸送もお客様優先の会社体質に向かうよう訴えていきたい」と力強く述べた。

## 積極的に議論に参加

### 青年部が中央委員会を開催

中央本部の宮崎組織部長は答弁で、「11月28日に第1回の中央戦術委員会が行われる。今の時点ではストライキについては結論を出せないが、みなさんの切実な意見をしっかりと届けたい」と応えました。運動方針案の確認の後に、役員改正が行なわれ、芹沢君が引き続き中央常任委員として選出されました。

最後に、中嶋健太新青年部長の団結がんばろうで終了しました。

専任社員制度改善の考え方、駅異動時期の変更を求める意見などが出されました。

東海本部から、シニア契約社員制度については今後の制度運用なども注視しつつ、組合員からの意見を集約しながら対応を検討していくこと、駅異動の運用についてはこれまでも交渉しており、具体的な実態を調査等で対応していくこととする旨ご回答しました。その後、18春闘・会社諸計画・労働協約改訂各要求の集約を含む今後の取り組み等の意思統一を図り、出席者全員で確認しました。

11月27日、静岡国労会館で第102回青年部中央委員会が開催されました。東海エリヤから常任委員が執行部、渡邊青年部中央委員が執行部、渡邊青年部中央委員が代議員として参加しました。工藤常任委員が議長を務め、スマーズな議事進行を行いました。

こうした意見に対しても、中央本部の宮崎組織部長は答弁で、「11月28日に第1回の中央戦術委員会が行われる。今の時点ではストライキについては結論を出せないが、みなさんの切実な意見をしっかりと届けたい」と応えました。運動方針案の確認の後に、役員改正が行なわれ、芹沢君が引き続き中央常任委員として選出されました。

最後に、中嶋健太新青年部長の団結がんばろうで終了しました。

### 加入の訴え

## 「安心と安定」をサポート

国労東海本部執行委員長 長岡 正之

害を目の当たりにするのが現状です。

現在、交運共済はJR職域共済という位置づけのもとに、安心と信頼に応える共済として、組合員と家族の「安心と安定」をサポートするものとして、「助け合い・相互扶助」の理念を持って、組合員とご家族のために加入促進に取り組んでいます。また、最近では生活実態に合わせた新しい保

障制度も取り扱っています。

共済・自動車共済・自賠責共

済にも、ぜひ積極的に加入し

て頂けますよう重ねてお願い

申し上げます。

組合員の皆様には、日頃から交運共済の活動に理解とご協力を頂きありがとうございます。

東日本大震災から長い時間が経過しましたが、自宅にも想像をはるかに超える自然災

家族の幸せを災害から守る

### 火災共済+オプション保障

## 火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209



類焼損害保障



個人賠償保障



借家人賠償保障+修理費用

※借家にお住まいの方のみ

交通共済 ニュース